

令和 6 年度林務部予算（案）の ポイント等について

長野県 林務部

- 林務部の令和6年度当初予算案の総額は、一般会計150億7,002万3千円で前年度比99.7%とほぼ同額を要求
- 令和5年11月議会で議決された11月補正予算（国経済対策分）を加えた15ヶ月予算としては前年比101.4%

（千円）

	令和5年度 当初予算	令和5年11月 補正予算	令和6年度 当初予算（案）
予算額（一般会計）	15,114,911	2,337,411	15,070,023
うち公共事業	6,977,532	1,827,784	7,340,697
うち森林づくり県民税	624,870	-	768,584
うち森林環境譲与税	247,453	-	232,203
うち国補正予算分	-	(2,276,911)	-
（県営林経営費特別会計）	379,484	-	383,796
（林業改善資金特別会計）	49,909	-	39,443

林務部関係 令和6年度当初予算（案）のポイント

- ▶ 令和6年度は、長野県森林づくり指針に沿い「伐って、使って、植えて、育てる」という森林の持続的なサイクルの推進とともに、2050ゼロカーボンの達成にむけ、以下の取組を重点的に進める

長野県森林づくり指針の基本方針別のポイント

基本
目標

森林づくりで未来につなぐ 森の恵みとゆたかな暮らし

森林の若返りや担い手の確保、県産材の利活用や森林の多面的利用等を通じた林業・木材産業の活性化、森林と人との結びつきの深化により、将来にわたって森林の恵みが人々にもたらされ、豊かな暮らしにつながる社会をめざす

持続的な木材供給が可能な森林づくり

適正な主伐と計画的な再生林の推進、林業就業者の確保・育成と林業事業者の経営強化、林業の生産性の向上、県産材の安定的な供給体制の確立、様々な用途での県産材需要の拡大

- 県産材の安定供給・需要拡大

- (拡) (1) 多様なニーズに対応するための県内木材加工事業者等による連携体制の構築や情報発信の強化
- (2) ウッドチェンジの取組の促進（製品開発や販路開拓の支援）や (3) 再生可能エネルギーの地消地産の推進 等

- 林業従事者の確保・育成とイノベーションの創出

- (拡) (4) 主伐・再生林の担い手確保のため、移住者や転職者に加え新規学卒者への支援や兼業のマッチングに向けた調査
- (新) (5) 木曾谷・伊那谷フォレストバレーの形成に向けた運営主体となる協議会の新設や人材育成プログラムの開発等

- 主伐・再生林の着実な推進

- (新) (6) 標準経費全額を継続支援するとともに、再生林の省力化や再生林後の苗木を二ホンジカの食害から守る取組を支援

県民が恩恵を享受できる森林づくり

森林の多面的利活用の推進、森林等に関わる多様な人材の育成、多様な主体による森林への関わりの推進

- 森林サービス産業の推進

- (拡) (7) 森林空間を健康増進や観光など様々な分野で活用する森林サービス産業の創業・活動への支援、相談体制の整備活動のフィールドとなる森林空間や施設整備への支援 等

県民の暮らしを守る森林づくり

森林整備の推進、災害に強い森林づくりの推進、集積・集約化等による適切な森林管理の推進、野生鳥獣対策の推進

- 災害に強い森林づくりの推進

- 出没対策や先進技術を活用した獣害対策の推進

- (8) 野生動物による被害防止のための緩衝帯整備への支援、ICTを活用した行動監視と効率的な捕獲手法の普及

基本
方針

県産材の安定供給や需要拡大

(川上から川下までの連携体制及び各分野における支援策)

R6当初予算額(案)

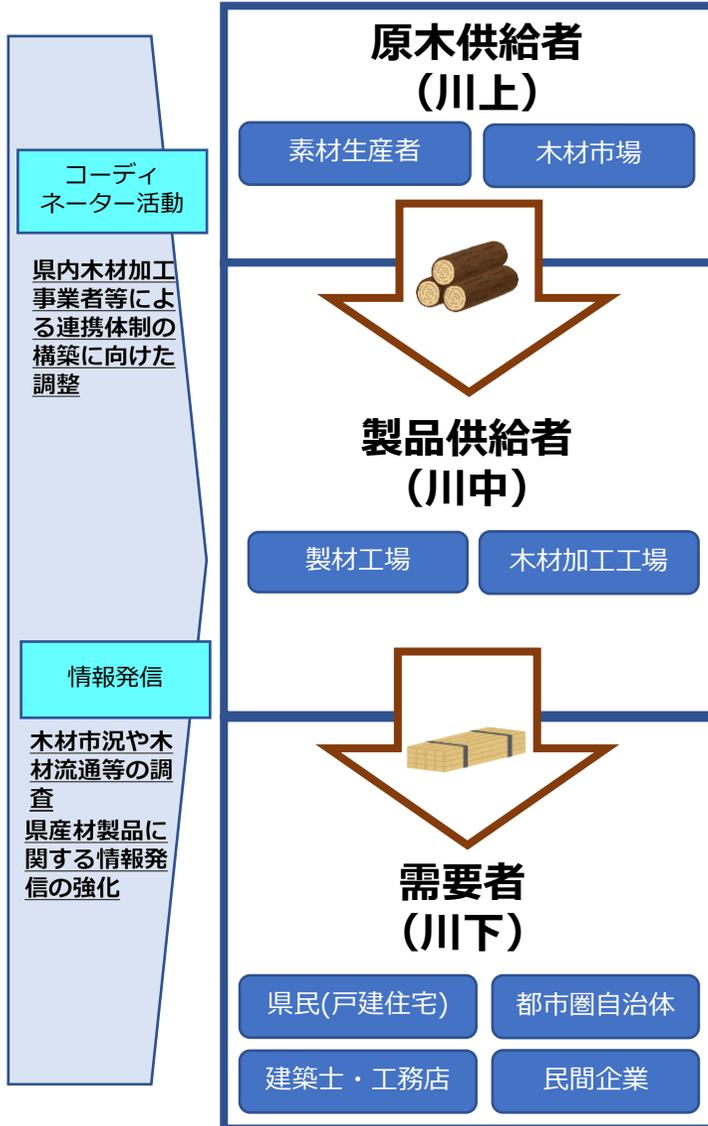
311,655千円

- 流通体制整備対策：信州ウッドコーディネーターを配置した事業者間の連携体制の構築や販路開拓等を推進、情報発信の強化
- 利用促進対策：民間施設の木造・木質化や木の調度品の設置支援などを行い、県産材の需要を拡大
- 安定供給対策：木材製品の開発支援や加工施設の導入支援などを行い、安定的な木材製品の供給並びに地域材の活用・消費を推進

○ウッドもつとつながる事業

- ▶信州ウッドコーディネーターを配置し、県内木材加工事業者等による連携体制を構築
- ▶県内の木材流通の調査や県産材製品に関する情報を手軽に入手できる環境整備

12,500千円



主伐・
再造林
を推進

- 主伐・再造林の着実な推進
- 林業人材の確保・育成
- 生産基盤の整備
▶高性能林業機械や路網の整備など

安定的な
木材製品
の供給を
推進
地域材
活用・消費
の推進

- ウッドチェンジ普及促進支援事業
▶木材製品に関する開発・販路拡大を支援 12,000千円
- 上伊那地域材利活用促進事業
▶地域内加工・域内消費の促進 8,405千円
- 木材産業循環成長対策事業
▶木材加工施設や木質バイオマス加工施設導入等を支援 34,500千円
- 地域木材産業活性化推進事業
▶木材加工事業者等の運転資金等を低利子で融資 196,682千円

県産材の
需要拡大

- 信州健康ゼロエネ住宅普及促進加速化事業 (建設部)
▶信州健康ゼロエネ住宅指針に適合する県産木材等を活用した住宅(新築・リフォーム)に対する助成
- あたりまえに木のある暮らし推進事業
▶民間施設等における木造・木質化や木の調度品の設置等を支援(森林税活用事業) 40,000千円
- 木質バイオマス循環利用普及促進事業
▶個人向けペレットストーブの導入等を支援 6,600千円

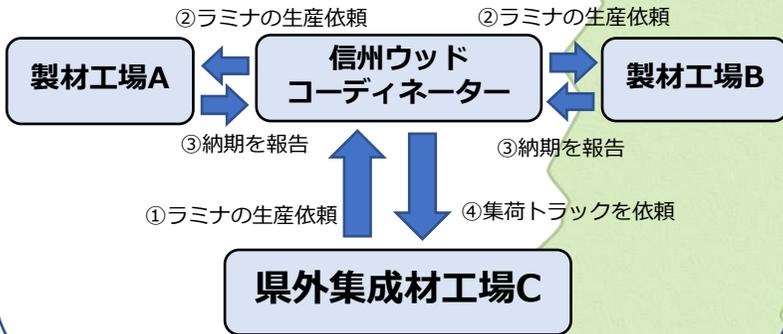
- 県産材の安定供給・流通体制等の強化を図るため、信州ウッドコーディネーターを配置し、県内及び都市圏の自治体等での県産材のコーディネート等を行うとともに大型需要に対応する木材加工事業者同士による水平連携や「顔の見える供給体制」の構築に向けた調整・支援と併せて県産材製品を入手しやすい環境整備を行う。

令和6年度事業概要 事業主体：県（委託事業）

①「信州ウッドコーディネーター」の配置
7,000千円

水平連携の事例

▶ 県内外の集成材工場からの定期的な県産材ラミナの需要に対して県内の製材工場が連携して供給



事業者間の契約・協定締結、
連携体制の構築をサポート



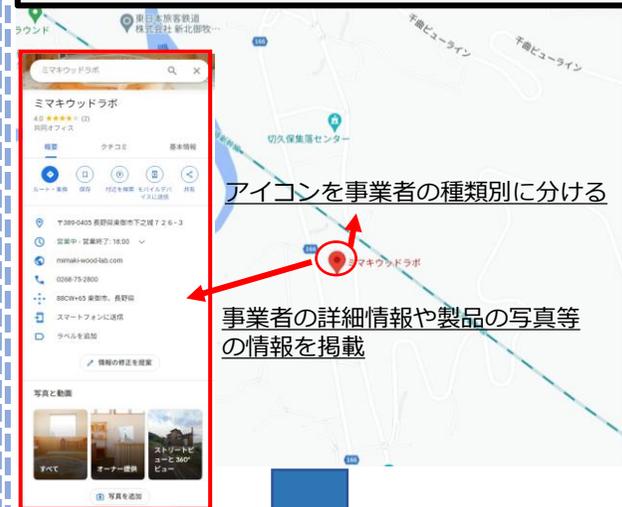
顔の見える 供給体制の事例

▶ 地域の工務店と製材工場が連携して、県産材を活用した住宅等を供給



②県産材製品を入手しやすい環境整備
5,500千円

Google map等の地図アプリ
(キーワードから検索、現在地から検索)



URLを掲載

県ホームページ

林務部や
事業者の
SNS

▶ 県産材製品のインデックス ▶ 製品の情報発信

事業目標：県内各地域で県産材の流通に向けた新たな連携体制を構築 6件（3年間）

- ▶ 二酸化炭素の排出抑制やゼロカーボンの取組により、国産材（県産材）利用への関心が高まる中、生活用品等をプラスチック・金属製品等から**木質製品への代替する**＝「**ウッドチェンジ**」を進める格好の機会
- ▶ 県産材製品等の魅力の向上および販路拡大に支援することで、県産材の需要拡大に繋げるとともに、「**ウッドチェンジ**」の一層の推進を図る。



事業概要およびイメージ

【事業概要】

- **事業主体** : 民間事業者・団体 等
- **補助率（上限額）** : 1 / 2 以内（2,000千円以内/ 1 件）
- **事業目標** : 支援件数 6 件

【事業イメージ】

県

支援

民間事業者・
団体 等

【支援内容】

【県産材製品の普及強化】

- ・ 販路開拓、拡大 (例) 地域クラフト工房の共同販売、オンラインショップの開設、市場調査、海外販売サイトへの出品 等
- ・ 新規市場への参入

1) 通常枠

2) テーマ優先型
(テーマに沿った製品開発・販路開拓が加点項目)

【県産材製品の魅力向上】

- ・ 既存製品の改良 (高付加価値化) (例) 携帯用木製カトラリー、在宅勤務向け製品の開発、外壁材の塗装不要化
- ・ 新製品の開発

ウッドチェンジの主な取組事例

年度	事業内容
R5 (採択件数 : 9 件)	<p>□ 児童向け木製工作キット</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 長野県産SGEC 認証カラマツを利用した木工クラフト「もっくら」 <p>もっくら(ウマ型)▶ </p> 
	<p>□ 六角箸の製作</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「持ちやすさ」「使いやすさ」を追求した木曽のヒノキを使用した箸 ・ 試作品やモニター調査の実施し、六角箸のシリーズ化 (コーティングによる耐久性、外国語表記 等)  

年度	事業内容
R4 (採択件数 : 13 件)	<p>□ 木製コンテナ・テントの開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ co屋 (こや) の製作 ・ 消費者向け (キャンプ、物置等の多目的向け) ・ 事業者向け (マルシェ、飲食イベント向け) <p>co屋 (POD型)▶ </p>
	<p>□ ウッドバスケット等の首都圏等での販路開拓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ネット販売向けPR動画の作成 ・ 製品カタログの作成 

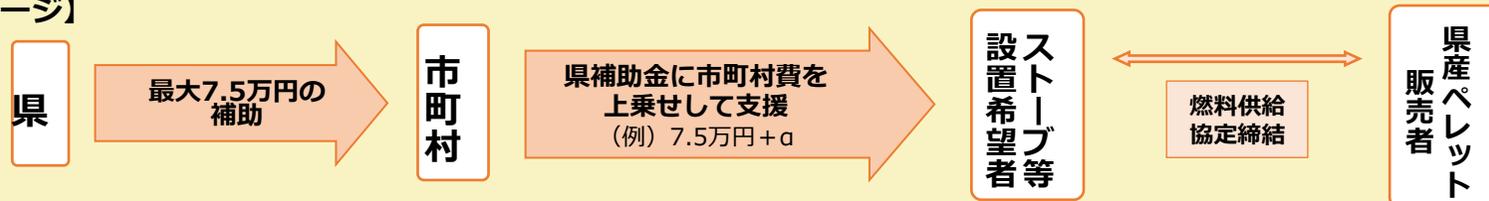
- ▶ ゼロカーボンの達成に向けて、再生可能エネルギーの利用をさらに増やしていくためには、本県の森林資源を活かして生産される長野県産の木質バイオマスを県内で循環利用する必要がある。
- ▶ 持続的な木質ペレットのユーザー確保と併せて県内産木質ペレットの更なる消費拡大を目的とし、ペレットストーブ・ボイラーの導入を支援することで、**木質バイオマスエネルギー（薪・ペレット等）への転換の促進を図る。**

事業概要およびイメージ

【事業概要】

- 事業主体 : 市町村
- 補助率（上限額） : 3/4以内（事業費100千円を上限）
- 補助対象経費 : ペレットストーブ・ペレットボイラーの本体購入経費
- 事業目標 : 購入支援件数 88件
(R5ストーブ等導入件数 85件(見込み))

【事業イメージ】



木質バイオマスのPR・普及への取組

【木質バイオマス普及啓発動画】



エリア：長野県全域
対象：男女問わず、
20～50代の一般県民

- ・各種SNSにて動画広告の配信を実施
- ・ホームセンター等でのストーブ販売イベント等で放映を実施

【木質バイオマス普及パンフレット】

「炎のある暮らし、はじめませんか？ - 森とつながるエネルギー -」



- ・薪ストーブ、ペレットストーブの利用を促すための紹介冊子
- ・各地域振興局への設置や各種イベントで配布を実施

▶主伐再造林の推進など、ゼロカーボン実現や林業振興のための森林整備を支える**林業人材を着実に確保・育成するため、林業労働力関連施策を拡充**
▶これまでの施策に加え、新規就業支援金の新卒者への支給、他産業との兼業や短期雇用といった多様な働き方に対する支援の拡充など、効果的に施策を講じることで、**全国トップクラスの働きやすい林業県づくりを一層推進**

令和6年度重点施策

(A B: 事業の対象者 (次ページ))

① 新規就業者の確保 (A B)

拡 転職・移住者等への支援金給付等 27,596千円

- ・学校卒業後の林業への就職や他産業から転職した際の支援金 (10万円/人)
＜新卒者を対象者に追加＞
- ・他県から移住して県内の林業事業体等へ就業した際の支援金 (100万円 or 60万円))
＜新卒者を対象者に追加＞
- ・先輩就業者への相談体制の構築

就業希望者等へのセミナー等開催 7,069千円

- 【拡充なし】
- ・共同就職説明会 (年2回)
 - ・林業セミナー (年6～7回)

② 保育従事者の確保 (A B)

拡 保育従事者新規雇用支援 16,188千円

- ・保育従事者の確保のため林業従事者が前年度から増加した際の奨励金 (12万円/月 (最長3ヶ月分))
＜前年度人数から定年退職者を除いた増加人数で算出するよう拡充＞
- ・新規採用者に対する資格取得補助

拡 保育従事者のマッチング 5,559千円

- ・保育事業者を雇用したい事業者と働きたい人の産業の枠を越えたマッチング
＜兼業等のマッチングニーズ調査・モデル実施＞
- ・保育従事者を雇用する事業者と素材生産事業者の圏域を越えたマッチング
- ・主伐・再造林を推進するための専門的な見地からの指導・助言

③ 多様な担い手の確保 (B)

拡 多様な林業の担い手確保支援 17,744千円

- ・新規就業者に必要な機械等に対する事業者への準備金 (10万円/人)、安全装備品 (1/2) や福利厚生 (1/3) の支援
＜短期雇用者を対象に追加＞
- ・新規参入資格取得支援
＜新たな作業種の資格取得経費を支援＞
- ・兼業、林福連携の受入れ支援 (3万円/回)
＜「林業の中核的な担い手」も受入れ先に追加＞
- ・就業情報関するプラットフォームの整備
＜就業等の情報を一元化したHPの作成＞
- ・外国人材就業検討
＜外国人材の受入れ体制等を検討＞
- ・中学校の職業体験、イベント開催等認知度向上

④ 創業チャレンジの応援 (B)

拡 創業による新規事業展開支援 12,000千円

- ・創業に必要な機械等の導入 (1/2・2/3)
＜新たに伐採事業に参入する事業体を対象に追加＞

⑤ 定着促進 <経営基盤の強化や生産性の向上、就業環境の改善や安全対策の強化> (A)

持続的な林業経営支援 7,284千円

- 【拡充なし】
- ・キャリアモデルの作成 (優良モデルの分析や紹介)
 - ・経営力、生産性の向上 (スキルアップ講座)

拡 安全対策の強化 14,846千円

- ・安全装備品の支援 (1/2)
＜短期雇用者を対象に追加＞
- ・巡回指導、安全講習
- ・指導者の育成

拡 就労条件の整備 16,501千円

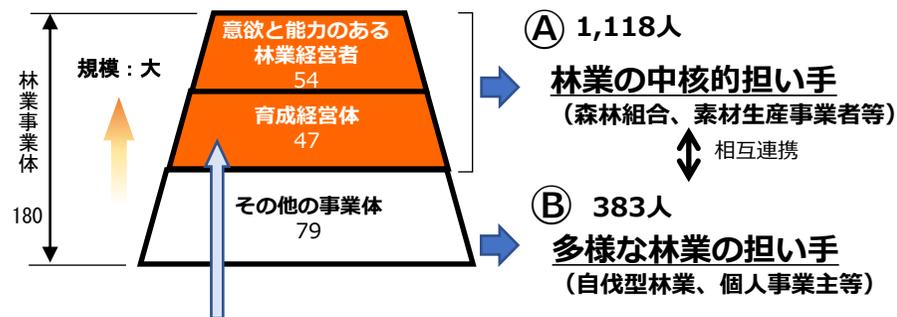
- ・退職金共済掛金、特殊健康診断、蜂アレルギー検査等補助 (1/3)
＜短期雇用者を対象に追加＞

林業人材の確保・育成（就業に係る各段階での支援策等）

- ▶ 林業就業者の確保に向け、裾野の拡大から就職、就業後の定着促進に至るまで、**各段階での体系的かつ総合的な支援策を措置**
- ▶ これにより、ここ3年増加傾向にある林業就業者について、**新規就業者120人/年を確保し、主伐・再造林を推進**（5年間で最大100人の増員（就業者1,500人→1,600人）を目指す）

事業体（就業者）の構造

人材の確保・育成 R4：1,501人（R3：1,499人、R2：1,449人）



就業後（定着促進） (事業者向け)

A 林業の中核的担い手

- **新規就業者の育成（緑の雇用）**
 - ・就業準備金
 - ・研修費用・指導者130～140万円/人
- **就業環境の整備**
 - ・退職金共済加入等福利厚生の充実
 - ・安全装備
- **スキルアップ**
 - ・スマート林業、高性能林業機械

B 多様な林業の担い手

- **多様な林業の担い手対策**
 - ・就業準備金
 - ・兼業、林福連携支援
 - ・安全福利厚生対策
 - ・起業・創業支援

共通

- **保育従事者の確保・新規就業者の確保**
 - ・圏域や産業の枠を越えた労働力のマッチング、新規雇用の奨励、資格取得支援
- **林業労働安全の強化**
 - ・安全巡回指導、安全装備、指導者の育成等

目標： 新規就業者120人/年
(過去5年平均約100人/年)

特徴： 他産業からの転職（約6割）が多い
県外からの移住（約3割）

森林・林業を学びたい者、
起業を考えている者等

就業意欲の喚起

林家、地域リーダー、他分野事業者等
森林に関心を持つ者
(就業希望者や学生等、移住者を含む)

(C) **林業人材の育成
イノベーション**

(D) **森林の利活用人材
森林・林業の理解者**

就業準備・支援 (個人向け)

(A) (B) ■ **転職・移住支援**

- ・キャリアスタート（新卒・転職）10万円/人
- ・移住支援60万円or100万円/人

■ **情報の収集**

- ・林業セミナー（年6～7回）
- ・林業前研修
- ・現場見学会（年数回）

■ **相談体制の構築**

- ・先輩就業者の相談窓口の設置

■ **将来像の提示・定着促進**

- ・キャリアモデルの作成

■ **就職先とのマッチング**

- ・共同就職説明会（年2回）
- ・就業相談

裾野の拡大

(C) ■ **木曽谷・伊那谷フォレスト
バレーの形成**

- ・推進体制の構築
- ・人材育成・創業支援プログラムの開発・実行
- ・木曽谷の林業移住、就業、就学の促進

(D) ■ **林業の認知度の向上**

- ・森林環境教育、学校林の活用等
- ・中学生の職業体験、高校生体験研修
- ・イベント、森林・林業体験
- ・林業就業等の情報発信

(D) ■ **地域人材の育成**

- ・コーディネーター、地域リーダー育成

(D) ■ **外国人材就業検討**

- ・受入れ体制の整備

■ 理念 木曽谷・伊那谷での木と森に関する学びを活かし、新たな時代を支える人材の育成と多様なビジネスを創出

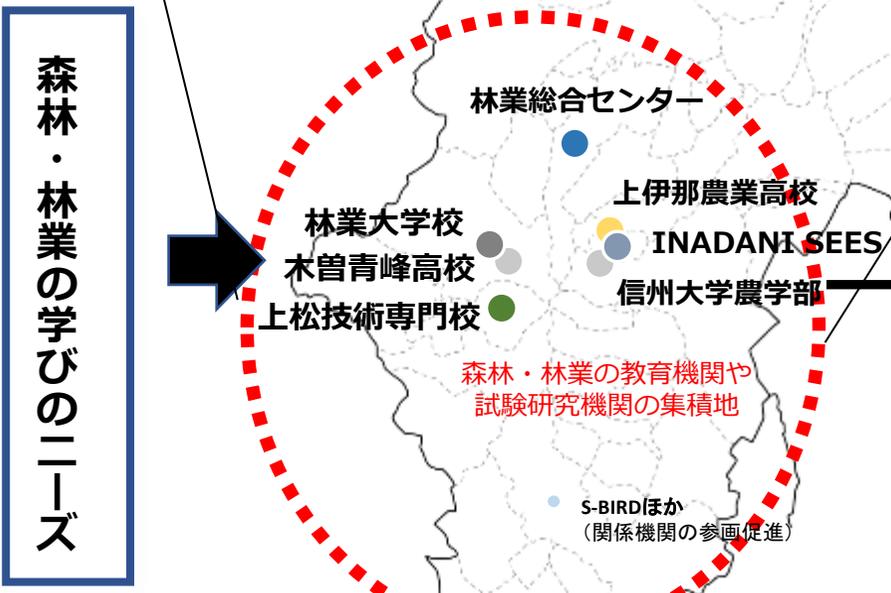
■ 木曽谷・伊那谷フォレストバレーとは？

- ①木や森に関する学びや人材育成の拠点地域
- ②森林資源を活かしたイノベーションと雇用が生まれる地域
- ③これらが地域ブランドとして確立し、国内外の交流が生まれる地域

木や森を活かす豊かな社会をつくるための知識・技術基盤が整った全国随一の地域

関係機関の連携による質の高い教育の提供と知見を活かした産業支援

高度で創造的な人材の育成と起業ノウハウの提供等により、県内各地の森林・林業関連産業の振興に貢献

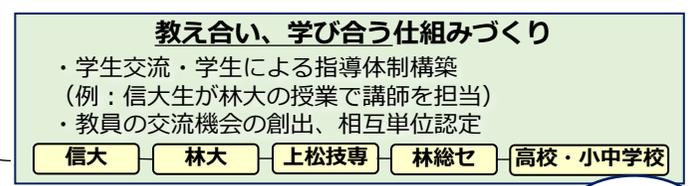
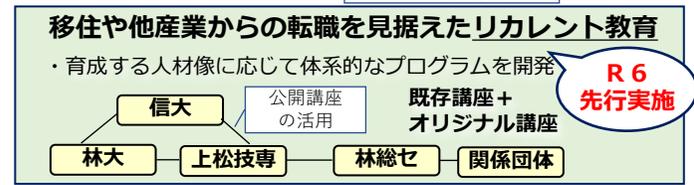
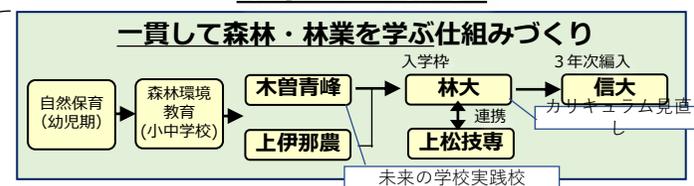


- ・連携強化による教育の質の向上
- ・森林・林業への多様なニーズへの対応

産業人材の育成・輩出

イノベーションの創出

取組の方向性



現状

計画的な主伐・再造林の推進により、今後10年かけて80年サイクルで更新する仕組みを構築するため、以下の取組を実施
 ○資源の循環利用に適した森林（林業経営適地）を明確にするとともに、長野県主伐・再造林ガイドラインを策定
 ○再造林やその後の初期保育に必要な標準的な経費を全額支援することで、森林所有者の負担軽減を図り再造林を促進
 ⇒当面5年後の（R9）の再造林面積を面積を年間1,000haとする（10年後（R14）には年間1,250haへ）
 ⇒R 6再造林目標面積420ha（R 5目標 260ha）

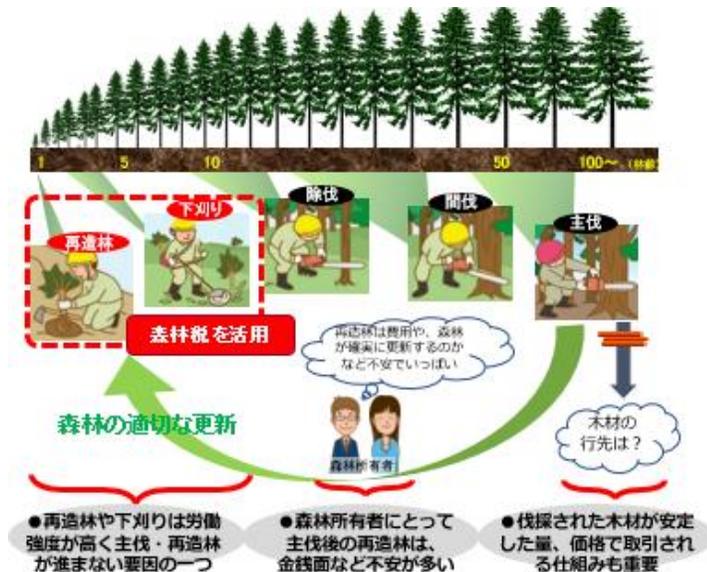
課題

○地域によっては地形が急峻で森林作業道の開設が困難であることから、その進捗に地域差が生じている
 ○再造林が進んでいる地域では、下刈り等の保育作業が担い手不足により、再造林に支障が生じている
 ○二ホンジカ生息密度が高い地域では捕獲等の対策が追い付かず、植栽木が食害を受け、森林の更新に支障が生じている

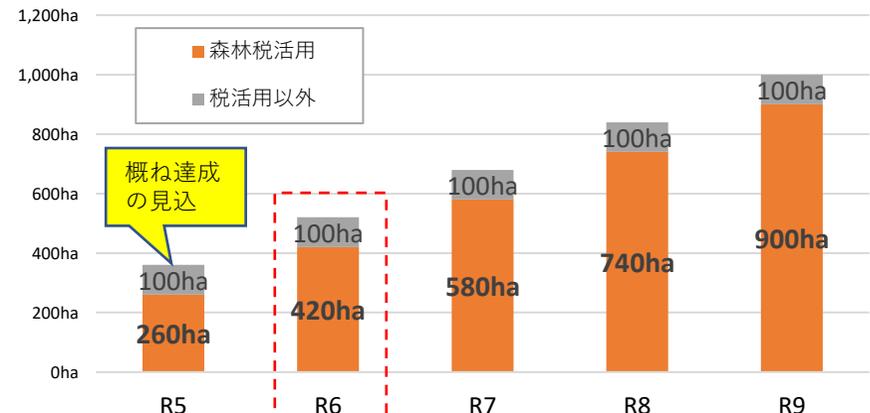
主伐・再造林の確実な推進に向け、課題に対応するための事業を実施

- 【継】 (1) 長野県主伐・再造林ガイドラインに基づく再造林とその後の下刈り等に必要な標準的な経費を全額支援
- 【新】 (2) 地形が急峻で森林作業道の開設が困難な地域において、架線を活用した主伐・再造林及び保育等に係る経費を支援
- 【新】 (3) 二ホンジカ等の食害から植林後の苗木を守るため「わな」の見回り、併せて行う機器やシカ柵の点検等への活動経費を支援

【継】 信州の森林づくり事業 R 6 予算額 (案) 538,600千円 (森林税161,580千円)
 補助率：10/10 ※ (国庫及び一財 7/10、森林税 3/10) ・森林税：11.3億円 (5年間) ※標準的な経費に対する補助率



再造林面積の目標



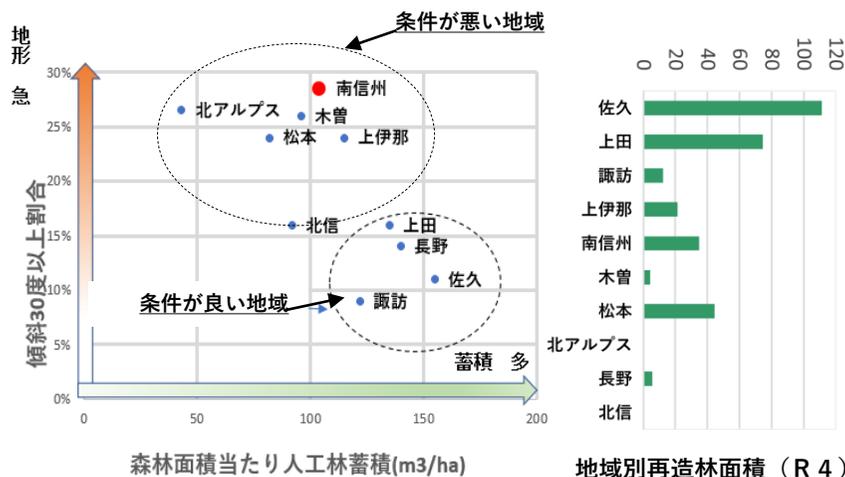
➤ 地形が急峻で森林作業道の開設が困難な地域において、「空の道」とも言われる架線を活用した主伐・再造林及び保育等に係る経費を支援

○ 補助率等

- ・事業主体：市町村、森林組合、生産森林組合、NPO法人、森林所有者 等
- ・補助率：定額、9/10
：架線の架設・撤去に係る支援 7,000千円、自走式下刈り機等のリース支援 3,000千円
- ・事業目標：再造林面積 420ha（2024年度）

1 主伐・再造林を進める上での課題

- 南北に広い県内は地域によっては、地形が急峻で森林作業道の開設が困難であることから、主伐後の再造林等の推進に地域差が生じている
- 主伐時に搬出されなかった枝条等が林地に残され、有効活用されず、再造林の際、植栽の支障となっている
- 再造林が進んでいる地域では、下刈り等の保育作業が担い手不足により、再造林に支障が生じている



課題に対応するため、県内でモデル的に実施

2 取組内容

- 架線を活用した資材運搬等により再造林の効率化
- 架線を活用した全木集材による資源の有効活用
架線等を活用し、一貫作業による主伐から再造林までの実施及び再造林に必要な苗木、資材等を運搬を行う場合、架線の架設に係る標準的な経費の一部を支援



- 自走式下刈り機や苗木運搬機械等による省力化・労務軽減化
植栽・下刈り等の省力化に資する自走式下刈り機等のリース料の一部を支援



人力からの転換による省力化



下刈りは植栽木の育成に必須
炎天下の作業で重労働（離職の原因）

リース支援対象機械の一例（乗用下刈り機）

➤ 二ホンジカ等の食害から植栽後の苗木を守るため、林業事業体が捕獲者と連携して行うわなの見回りやICT機器の保守作業等の活動経費を支援

○ 補助率等

- ・事業主体：市町村
- ・補助率：10/10以内
：「林内捕獲サポート隊」が行うわなの見回り等の捕獲補助活動経費への支援 3,000千円
- ・事業目標：再造林面積 420ha（2024年度）

1 主伐・再造林を進める上での課題

- 二ホンジカの生息密度の高い地域では、植栽後の若い苗木の二ホンジカによる食害を柵等による防護対策だけでは防ぎきれない。
- 食害を受けるリスクから主伐・再造林への意欲が低下している。



引きちぎられた枝葉

- わなを設置して捕獲圧を高めることが有効だが、捕獲者にとっては、毎日見回りを行う必要があり、負担が大きい（特に奥山）。



奥山でのわなの見回り

課題に対応するため、市町村の活動を支援

2 取組内容

◎市町村が組織する「林内捕獲サポート隊」の活動を支援

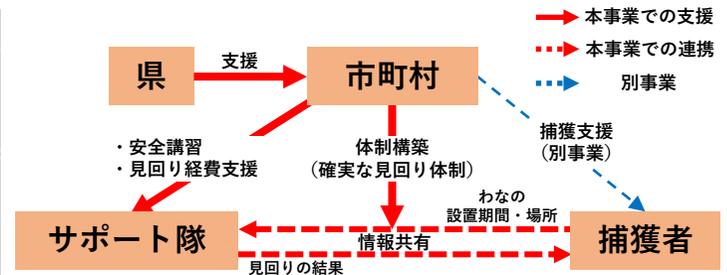
二ホンジカ等の捕獲圧を高め食害リスクを低減するため、市町村が林業事業体の職員等で構成する「林内捕獲サポート隊」を設置し、わな設置後の見回り等を実施する。県はその活動に要する経費を支援する。

○支援内容（県→市町村）

- ・林内捕獲サポート隊が行う、わなの見回り等の捕獲補助活動※に要する経費
- ・林業事業体職員への安全作業の研修経費
- ・捕獲者や林業事業体と活動内容及び活動体制を調整するための技術的指導

＜※捕獲補助活動の内容：狩猟免許がなくても実施可能な活動＞

- ・わなの見回りや給餌、併せて行う機器やシカ柵の点検
- ・シカが捕まっていた場合に捕獲者へ連絡

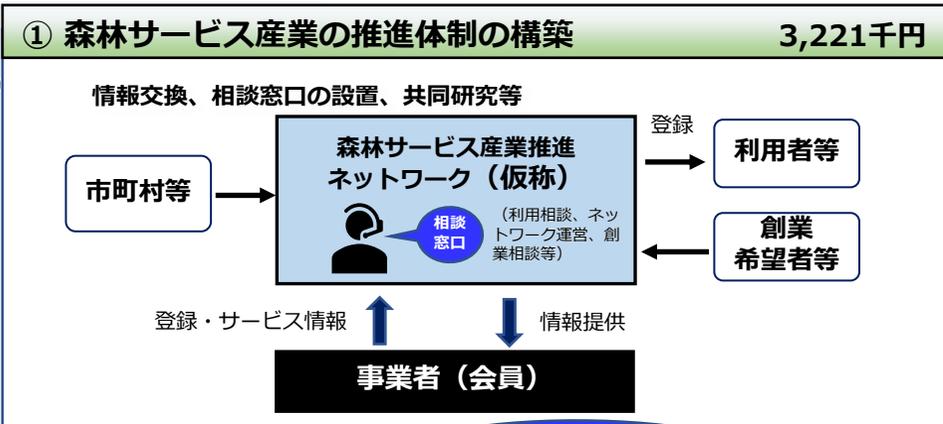


▶ 「森林サービス産業推進ネットワーク(仮称)」を立ち上げ、情報交換の機会の設定や相談窓口を設置するとともに、創業時の支援や活動支援、人材育成等の地域の課題に対応

■ 森林サービス産業の推進 (R6)

県執行

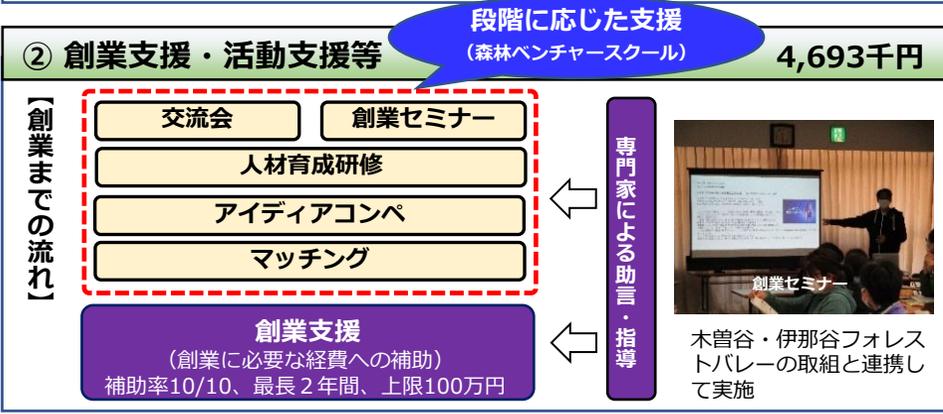
民間事業者に一括委託
ネットワーク運営委託



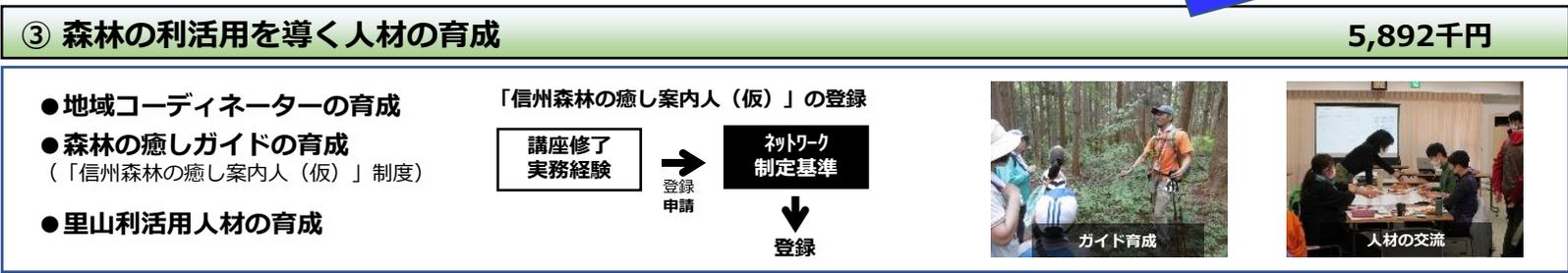
④ 森林空間の整備と森林の利活用

森林空間の整備、林内施設等の整備 (森林整備9/10、施設整備1/2)	15,910千円
森林を活用した環境教育等 (森林整備9/10、活動経費10/10)	8,710千円
企業との連携による森林づくり (森林の里親促進事業)	1,135千円

県
創業・活動支援委託



人材育成とフォローアップ



(8) 市町村森林整備支援事業

R 6当初予算額 (案) 175,300千円

- ▶ ライフライン沿いの危険木の伐採や国庫補助対象外の病虫害被害対策など、地域の課題解決に向けた市町村による森林整備の取組を支援
- ▶ 地域の要望を踏まえ、一部取組の計画を後年度から前倒して積極的に支援し取組を加速化

区分	事業内容 (補助率)	補助率	R 6 予算 (案)	R5予算
ライフ ライン等 の保全対策	<p>○ライフライン等保全のための支障木等の伐採</p>  <p>支障木等の伐採</p>	9/10 以内	63,000 千円	66,600 千円
観光地の 景観整備	<p>○観光地の魅力向上に向けた森林整備</p> <p>実施前</p>  <p>実施後</p> 	9/10 以内	24,300 千円	24,192 千円
緩衝帯の 整備	<p>○野生鳥獣による被害防止のための森林整備</p> <p>実施前</p>  <p>実施後</p> 	9/10 以内	28,000 千円	15,660 千円
森林の 病虫害 被害対策	<p>○病虫害被害による枯損木の有効活用</p> <p>枯損木の活用</p>  <p>○森林外や未被害市町村での被害木処理等</p> <p>被害木の処理</p> 	9/10 以内 1/2 以内	60,000 千円	60,060 千円

I 森林の若返り促進と安全・安心な里山づくり

1 再造林の加速化

- 再造林等の嵩上げ補助により主伐・再造林を促進し若い森林への更新を加速化
- 新 再造林の省力化を図るために必要な架線の設置・撤去、省力化機械のリース等に係る経費を支援
- 新 再造林後の森林の確実な更新のための、罫の見回りや機器の保守作業等に係る経費を支援

2 防災・減災のための里山整備

- 土砂災害や流木被害等を防止するための里山の間伐等整備

II 森や緑、木のぬくもりに親しむことのできる環境づくり

3 県民が広く親しめる里山づくり

- 県民が広く利用できる「開かれた里山」の整備・仕組みづくり

4 広く県民が利用する施設等の木造・木質化等

- 県民が利用する公共施設の木造・木質化
- 民間施設や子どもが主に利用する施設の木造・木質化

5 やまほいくのフィールドや学校林の整備等

- 信州やまほいく認定園のフィールド整備
- 学校林の整備支援

6 まちなかの緑・街路樹の整備

- 信州まちなかグリーンインフラ推進計画に基づくまちなかの緑化・整備
- 街路樹の整備支援

III 森林・林業活動に取り組む多様な人材・事業者への支援

7 森林サービス産業など森林の多面的利用の支援

- 拡 森林の健康利用や森林環境教育、観光利用等に取り組む団体の活動支援
 - 森林を活用した新たなビジネスの起業支援
 - 森林（もり）の里親契約の促進（企業と地域のマッチング）
 - 森林セラピーやエコツーリズム等のガイド、森林環境教育等の指導者、里山管理人材等の育成

8 多様な林業の担い手の確保・育成

- 森林・林業に関わる人材の裾野拡大
- 拡 他産業との兼業や季節的な雇用など多様な林業の担い手への支援

IV 市町村と連携した森林等に関連する課題の解決

市町村への定額配分による「森林づくり推進支援金」に替え、地域において必要度の高い事業をメニュー化して支援

9 ライフライン等保全対策

10 河川沿いの支障木等伐採

11 観光地の景観や緩衝帯の整備

12 病虫害被害対策

▶ 第4期森林税の2年目として基本方針に示す各柱の取組をさらに加速化し、目標達成に向けて必要となる額を要求

事業区分		事業主体 (補助対象)	R6 予算案 (千円)	R5 予算額 (千円)	前年比 (千円)	目 標			
事業名	事業概要					基本方針 の目標	5年間 の目標	R6年度 の目標	
I 森林の若返り促進と安全・安心な里山づくり			330,780	241,800	88,980				
再造林の加速化	①	【信州の森林づくり事業 (人工造林・初期保育の嵩上げ)】 主伐・再造林等の加速化を図るため、人工 造林・下刈り等の初期保育を支援	市町村、 森林組合、 林業事業者等	161,580	93,600	67,980	再造林面積 (ha)	2,900	420
	新	【再造林省力化モデル推進事業】 再造林の省力化を図るために必要な架線の設置・撤去や自走式下刈り機のリース等を支援	市町村 森林組合 林業事業者等	10,000	0	10,000			
	新	【再造林推進シカ捕獲サポート事業】 再造林後の森林の確実な更新を図るため林内捕獲サポート隊による罠の見回りや機器の保守作業等を支援	市町村	3,000	0	3,000			
	小計			174,580	93,600	80,980			
防災・減災のための 里山整備	②	未整備の里山のうち、防災・減災のための優先的に整備が必要な里山の間伐等の森林整備を支援	市町村 森林組合 林業事業者等	156,200	148,200	8,000	間伐面積 (ha)	1,500	400

令和6年度森林づくり県民税活用事業一覧

事業区分		事業主体 (補助対象)	R6 予算案 (千円)	R5 予算額 (千円)	前年比 (千円)	目 標			
事業名	事業概要					基本方針 の目標	5年間 の目標	R6年度 の目標	
II 森や緑、木のぬくもりに親しむことのできる環境づくり			153,162	129,390	23,772				
開かれた里山整備事業	③-1	より多くの県民が里山の森林に親しむことができるよう「開かれた里山」の整備を推進	里山整備利用推進協議会 事業体 等	56,000	34,400	21,600	県民が広く親しめる里山整備利用地域の箇所数	50	10
	③-2	地域住民等による里山の森林管理体制を確立するため、整備・利用計画の樹立や資機材導入等の活動基盤整備を支援	里山整備利用推進協議会 事業体 等	23,472	21,190	2,282			
	小計			79,472	55,590	23,882			
あたりまえに木のあ る暮らし推進事業	④-1	【広く県民が利用する施設等の木造・木質化】 民間施設等の木造・木質化等の支援、県有施設の木造・木質化等の推進	民間事業者 市町村等	38,550	38,550	0	木造・木質化等の箇所数	55	11
	④-2	【木工体験の推進支援】 小中学生等を対象とした木工教室などの木工体験活動を支援	木材関連事業者が組織する団体	1,050	1,050	0			
	④-3	【長野県産材CO2固定量認証】 県産材を使用した建築物等のCO2固定量の認証や工務店等に対する認証制度の広報活動を推進	県	400	400	0			
	小計			40,000	40,000	0			
やまほいくのフィールド整備や学校林の整備等	⑤	【信州やまほいく認定団体保育環境等向上事業】 自然保育に係るフィールド等の整備を行う認定園に対し整備費用を補助	市町村 学校法人 NPO法人 等	6,000	5,800	200	フィールド整備の箇所数	40	8
	⑥	【学びと育ちの森づくり推進事業】 ※地域の里山や学校林を活用して行う森林環境教育を支援	市町村 学校法人 NPO法人 みどりの少年団 育成会等	(8,710)	(6,230)	(2,480)	学校林整備等の箇所数	30	5
	小計			6,000	5,800	200			
			(14,710)	(12,030)	(2,680)				
まちなかの緑・街路樹の整備	⑦	【まちなかの緑地整備事業】 信州まちなかグリーンインフラ推進計画に基づく街中の緑地整備を支援	市町村 NPO法人 民間団体 等	4,000	6,000	△ 2,000	緑地整備の箇所数	10	2
	⑧	【まちなかの緑地保全事業】 街中の緑地保全の実施 (11,000千円) 【まちなかの緑地保全補助事業】 街中の緑地保全の支援 (2,690千円)	県 市町村	13,690	12,000	1,690	緑地の保全延長(km)	32	6.4
	⑨	【観光地の景観整備(県単道路橋梁維持修繕費)】 景観形成のための街路樹の整備・植樹	県	10,000	10,000	0	整備延長(km)	20	5.8
	小計			27,690	28,000	△ 310			

令和6年度森林づくり県民税活用事業一覧

事業区分		事業主体 (補助対象)	R6 予算案 (千円)	R5 予算額 (千円)	前年比 (千円)	目 標		
事業名	事業概要					基本方針 の目標	5年間 の目標	R6年度 の目標
III 森林・林業活動に取り組む多様な人材・事業者への支援			60,766	39,593	21,173			
森林サービス産業総合対策事業	⑩-1 拡 【森林サービス産業活動支援事業】 健康・教育・観光等の多様な分野で森林空間を活用する取組を支援	市町村 団体 等	33,669	19,116	14,553	森林サービス 産業に取り組 む地域プロ ジェクト数	50	10
	⑩-2 拡 【森林サービス産業人材育成支援事業】 森林セラピー基地等のガイド等の人材育成及び資質向上のための講座の開催等	県	5,892	6,738	△ 846			
	小計			39,561	25,854			
地球温暖化防止吸収源対策推進事業 (長野県森林CO2吸収評価認証制度)	⑩-3 森林の里親企業等から申請された間伐等実施地の森林CO2吸収量の評価審査及び認証	県	252	309	△ 57			
信州ネイチャーセンター構築事業	⑪ 自然観察インストラクターや自然公園施設を活用した取組をしている者を対象とした講習会や研修会の開催	県	2,000	1,900	100	エコツアー ガイドの 育成人数	25	5
多様な林業の担い手確保育成事業	⑫ 拡 林業を支える裾野の担い手となる就業者の確保のために必要な経費を支援	県林業労働力確保支援センター (事業者等)	18,953	11,530	7,423	多様な林業に 関わる新規就 業者数	200	44

令和6年度森林づくり県民税活用事業一覧

事業区分		事業主体 (補助対象)	R6 予算案 (千円)	R5 予算額 (千円)	前年比 (千円)	目 標			
事業名	事業概要					基本方針 の目標	5年間 の目標	R6年度 の目標	
IV 市町村と連携した森林等に関する課題の解決			215,350	205,887	9,463				
市町村森林整備支援事業	⑬	【ライフライン等の保全対策】 ライフライン等保全のための支障木等の伐採	市町村	63,000	66,600	△ 3,600	整備箇所数	150	30
	⑭	【観光地の景観整備】 観光地の魅力向上に向けた森林整備	市町村	24,300	24,192	108	観光地の 景観整備 箇所数	100	20
	⑮	【緩衝帯の整備】 野生鳥獣による被害防止のための森林整備	市町村	28,000	15,660	12,340	緩衝帯の 整備箇所数	100	38
	⑯ ⑰	【森林の病虫害被害対策】 病虫害被害による枯損木の有効活用及び 森林外や未被害市町村での被害木処理等	市町村	60,000	60,060	△ 60	枯損木利 活用材積 被害木 処理材積 (m ³)	10,000 5,400	2,000 1,080
		小計		175,300	166,512	8,788			
河畔林整備事業	⑩	市町村が管理する準用河川区域及びその周辺の河畔林のうち、市町村が行う防災効果の高い箇所での除間伐を支援	市町村	40,050	39,375	675	整備箇所数	70	14
V 普及啓発、評価検証			8,526	8,200	326				
みんなで支える森林づくり推進事業	⑱	県民の理解を深めるための広報・普及啓発活動等	県	8,526	8,200	326	-	-	-
合 計 (a)			768,584	624,870	143,714				

募集テーマ：木曽地域の森林資源や林業関係機関を活かした人材の確保・育成策について

木曽産木製品等の開発を通じて林業・木材産業の人材確保・育成につなげるため、木工の歴史と伝統が継承される木曽ならではの付加価値の高い「新たな木製品」の開発・試作や地域住民ら誰もが日常生活で使える「木質空間づくりDIYキット」の開発・活用実践に取り組みます。

【事業概要】

- ・事業主体：木曽地域振興局
- ・補助対象経費：コーディネーター等報償・旅費、試作品等製作費
- ・事業目標：木製品開発2件、DIYキット開発1式



【概念図】

